

第48回マイコトキシン研究会学術講演会

1. 開催日時、会場、参加費等

(1)学術講演会

日 時: 平成12年1月7日(金)

場 所: 名古屋市立大学・薬学部「薬友会館」

〒467 名古屋市瑞穂区田辺通3-1

Tel 052(836)3535(開催当日のみ)

(2)懇親会

日 時: 平成12年1月7日(木)

17:30~19:00

場 所: 名古屋市立大学・薬学部「厚生会館」

2. 世話人

: 名古屋市衛生研究所 副所長 山本 勝彦

〒467-8615 名古屋市瑞穂区萩山町1-11

Tel 052(841)1511~1513

Fax 052(841)1514

3. プログラム

(1)開会の挨拶 10:00～10:05

名古屋市衛生研究所 児嶋 昭徳

(2)一般発表 10:05～11:05

(3)特別講演 11:10～12:10

演 題 「アレルギー疾患の増大と衛生環境の変化:サル花粉症研究の視点から」

演 者 京都大学霊長類研究所・分子生理部門

中村 伸 先生

(4)昼食休憩 12:10～13:10

(5)総 会 13:10～13:40

(6)一般発表 13:50～14:50

(7)ワークショップ 15:00～17:00

【テーマ】

「食物及び飼料のゼアラレノン汚染とその毒性を巡って」

(各演題15分)

司 会 一戸 正勝(東京家政大学・教授)

小西 良子(国立感染症研究所)

【演題と演者】

1. ゼアラレノン毒性発現のメカニズム

田代 文夫(東京理科大学)

2. ゼアラレノンの汚染と毒性

上村 尚(東京都立衛生研究所)

3. ゼアラレノンによる不妊症

伊藤 美武(愛知医科大学)

4. 穀物とゼアラレノン産生菌

杉浦 義紹(東京理科大学)

5. ゼアラレノン関連化合物の微量分析

寺田 久屋(名古屋市衛生研究所)

6. 韓国における穀物のゼアラレノン汚染

Duck-Hwa Chung(Gyeonsang National University)

7. 総合討論

(8)閉会の挨拶 17:00～17:05

山本 勝彦(名古屋市衛生研究所)